

御所櫻梅松

録茅十三篇

山亭有人作

孟奇芳虎画

錦龜堂板

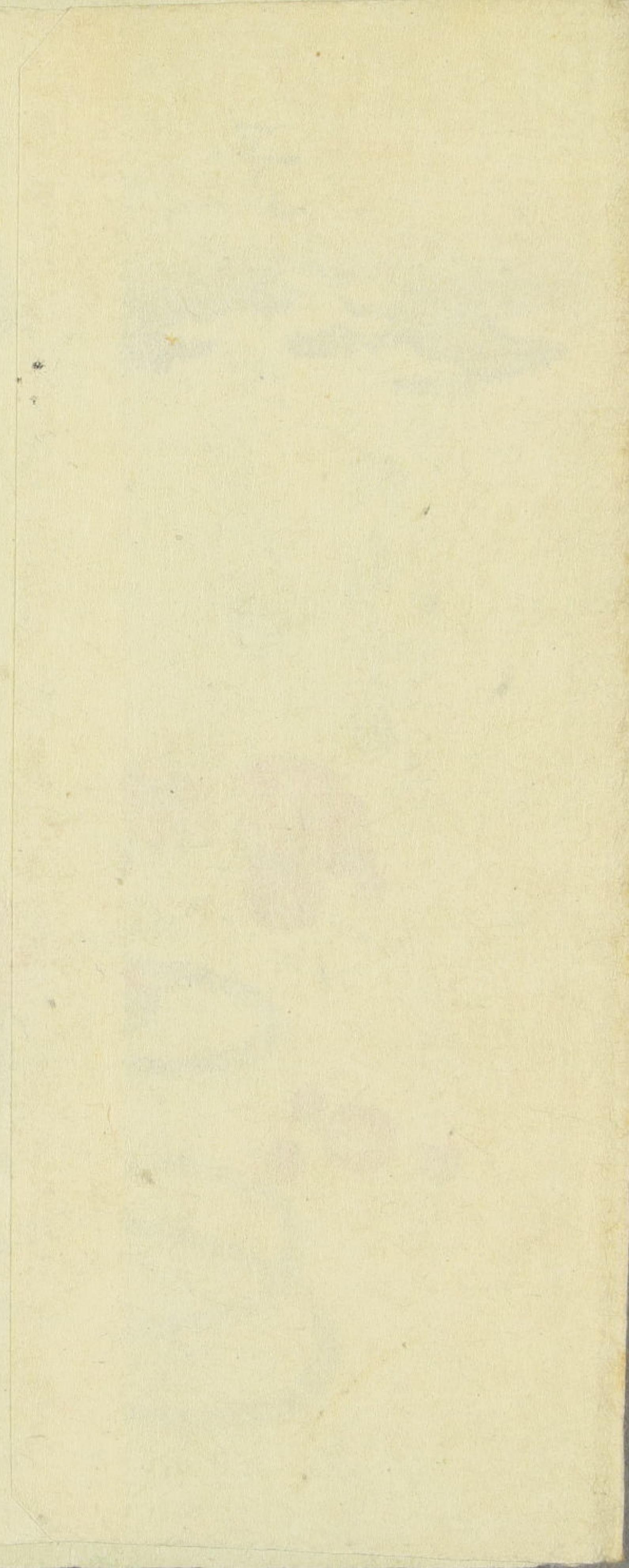


へ.13
3722
25





十三篇上



新所撰

梅松録

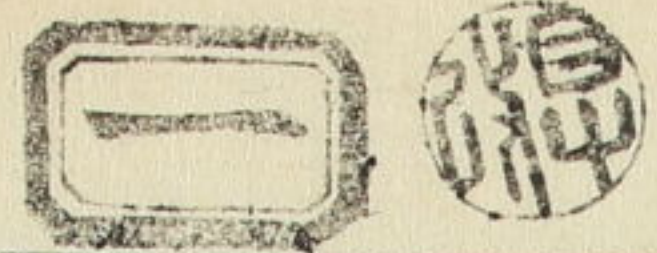
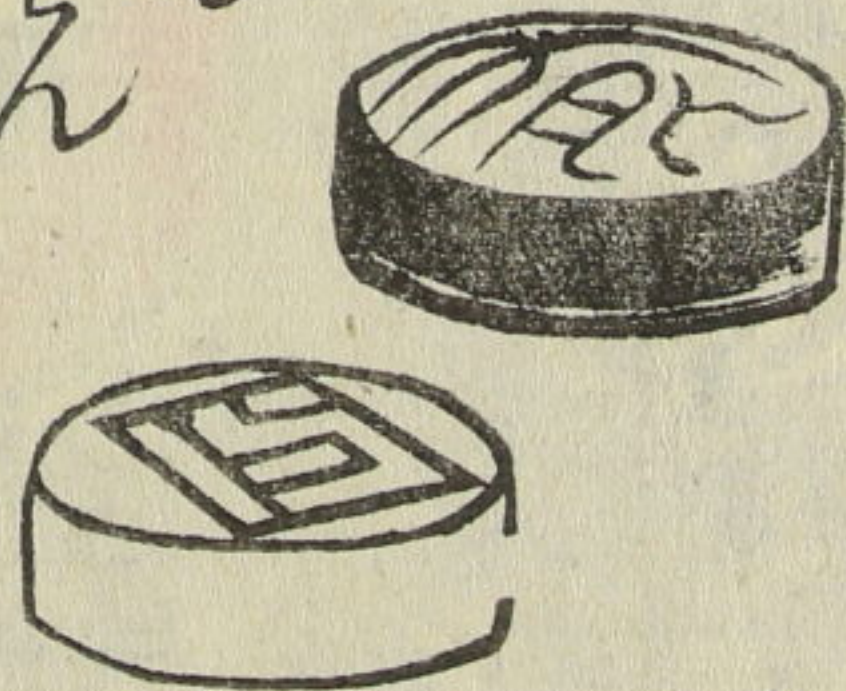


梅松

有人作

よりり画

過癡
 せん



一字千金二千金三千世界流行の中多の交まる梅松録の
 秀才秀才才ありぬ秀賀賀が丹情丹鳥鳥を鷺鷺の身代身代代にのつつおおんん
 著著て吳吳と源藏源ととの書房書の注文注翠珠翠簾簾の
 御所御振振を流聖流の管見管もて終終らんん更更いいわけけささくく
 彼所彼の連連ふたたるる札數札の功功を積積まれれ活筆活と死死糸糸と
 書書の連連ふたたるる夫夫も多多弁弁の云云訣訣より先熟見先の
 上上のの玄蕃玄の現現に黒白黒たんと武部武の業業り
 つらつぎぎささばば腹腹乃乃下下り汗汗や出出べべい

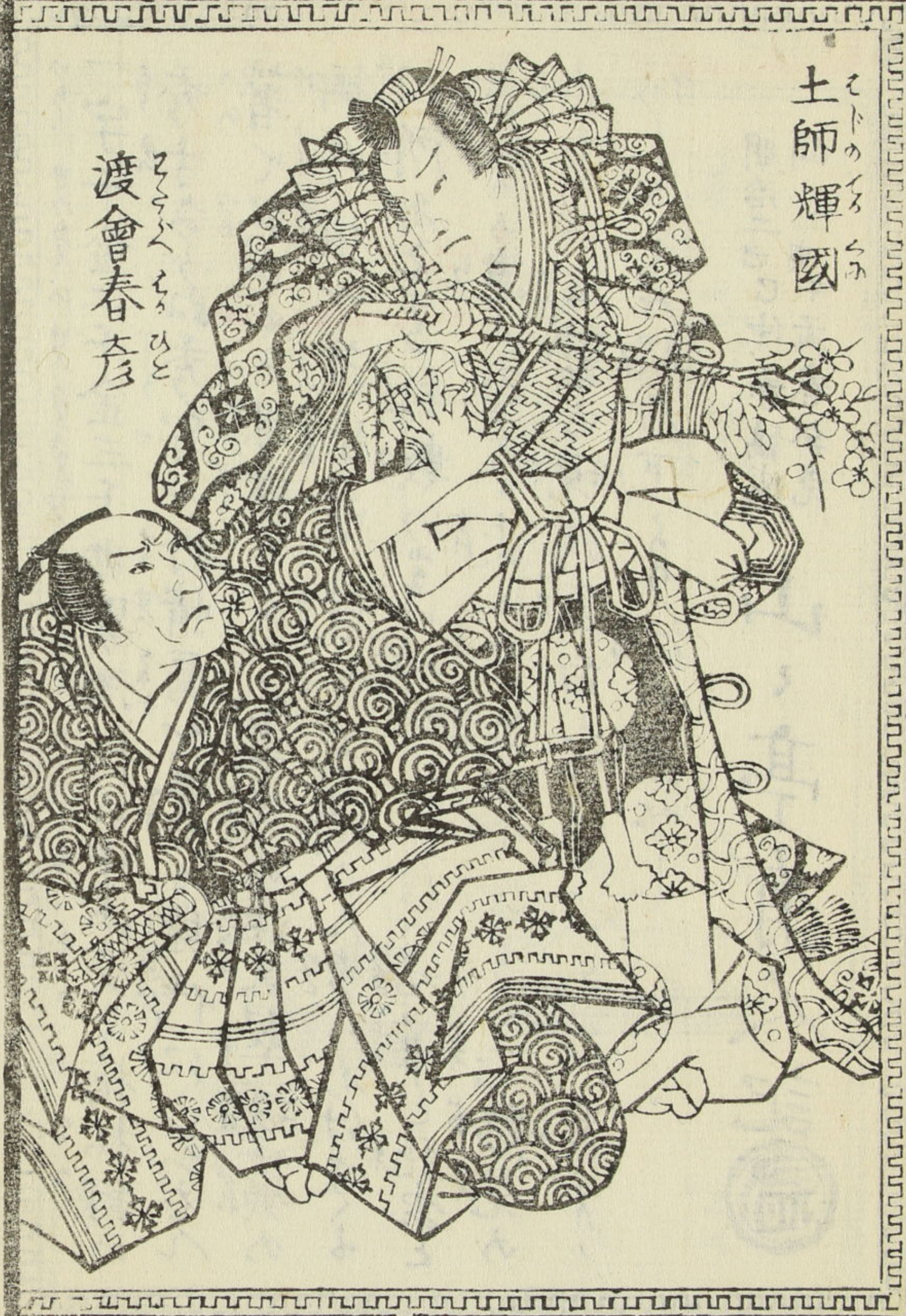
明治二己巳仲春稿成
 同 三庚午孟春発免

山々亭有人記



梅松録

土師輝國



渡會春彦

滝間善司



梅公録十三

五
材料毎一三



あんなに美しくも
いられない人さ
らもあんなに可愛
い人さでもない
あんなにやさしく
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに



あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに
あんなに

日本書紀十三

○このくち
まゝにひきまわし
みやにゆくのうら
ひんまゝにわらへし
くまのまゝにま
あひまゝにま
げんくまのまゝ
つゝのまゝにま
このくち
なれはら
このくち
このくち
このくち
横田
民弥
このくち
このくち
このくち
このくち
このくち



○このくち
まゝにひきまわし
みやにゆくのうら
ひんまゝにわらへし
くまのまゝにま
あひまゝにま
げんくまのまゝ
つゝのまゝにま
このくち
なれはら
このくち
このくち
このくち
横田
民弥
このくち
このくち
このくち
このくち
このくち

○このくち
まゝにひきまわし
みやにゆくのうら
ひんまゝにわらへし
くまのまゝにま
あひまゝにま
げんくまのまゝ
つゝのまゝにま
このくち
なれはら
このくち
このくち
このくち
横田
民弥
このくち
このくち
このくち
このくち
このくち



○このくち
まゝにひきまわし
みやにゆくのうら
ひんまゝにわらへし
くまのまゝにま
あひまゝにま
げんくまのまゝ
つゝのまゝにま
このくち
なれはら
このくち
このくち
このくち
横田
民弥
このくち
このくち
このくち
このくち
このくち



有人作芳虎画

島年	善惡教訓圖解	上	藤	善惡雅訓全
鮮廣	大日本神社佛閣全	全	周	俳優忠臣藏全
書	東海道五十三次全	全	房	花鳥かぶ美全
延	徳川年代記事全	全	周	寄籠之圖全
種	古今名婦傳全	全	房	命養生善惡鏡全
本	花鏡東京名所全	全	廣	開化東京名所全
龜	地本錦繪問屋	島	鮮	堂
			網	島
			龜	吉

